

新緑の鵜の池湖畔で健脚競う

▼第36回中国山地日野 鵜の池マラソン大会



▲一斉にスタート！元気いっぱい駆け出す



◀余裕の表情



◀最高齢の宇田春男さん（黒坂）



◀見事な選手宣誓を行う外国語指導助手のオーシエさん（左）とキエンさん

昨年を上回る多くの参加者でにぎわう

初夏のさわやかな気候の中、6月9日、第36回中国山地日野鶴の池マラソン大会（同実行委員会主催）が開かれ、県内外から約350人の選手が参加しました。

元氣よくスタートした選手たちを応援する家族らの大きな声が鶴の池湖畔に響きわたりました。

昨年から復活した鶴の池湖畔を周回するコースは2・3キロ、4・6キロ、6・9キロで、美しい緑萌ゆる木々の中を駆け抜けま

した。

また、会場では恒例の地元野菜たっぷりのみそ汁サービス、手作り弁当などのバザーも設けられ、笑顔で選手とふれあう姿が見られました。

今年は、お笑いコンビ・デンジャラスのノッチさんと安田和博さんが招待選手として招かれ、参加者と交流したほか、前日の8日には、町文化センターでトークショーを行い、町民らと盛り上がりました。



▲デンジャラスのノッチさん（左）と安田さん



▲にぎわう特産品抽選会



▲バザーも楽しみの一つ



▲米子松蔭高校の生徒が県内トップレベルの走りを見せる



▲熱い応援に選手は力がみなぎる